

2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年5月8日

上場会社名 新東株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5380 URL <https://www.shintokawara.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 早川 正 TEL 0566-53-2631
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第3四半期の業績 (2022年7月1日～2023年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	3,800	△7.1	12	—	37	427.8	24	572.2
2022年6月期第3四半期	4,092	11.4	△6	—	7	△54.0	3	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	35.18	—
2022年6月期第3四半期	5.23	—

(注) 当社は、2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年6月期第3四半期	6,568	3,309	50.4	4,677.22
2022年6月期	6,919	3,300	47.7	4,664.02

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 3,309百万円 2022年6月期 3,300百万円

(注) 当社は、2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	75.00	75.00
2023年6月期	—	0.00	—	—	—
2023年6月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年6月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定です。

3. 2023年6月期の業績予想 (2022年7月1日～2023年6月30日)

2023年6月期の業績予想につきましては、現段階において合理的に算定することが困難であることから引き続き未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。なお、当該理由につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期3Q	831,682株	2022年6月期	831,682株
② 期末自己株式数	2023年6月期3Q	124,082株	2022年6月期	123,990株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期3Q	707,619株	2022年6月期3Q	707,692株

(注) 当社は、2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期特有の会計処理)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症にかかる行動制限の緩和や、ワクチンの普及等により経済活動が徐々に正常化に向かっている一方で、ウクライナ情勢に起因するエネルギー、原材料価格の上昇の継続、円安に伴う物価上昇の更なる高まり等、依然として経済の先行きが不透明な状況が続いております。

住宅市場におきましては、住宅ローンの金利優遇措置等の住宅取得に伴う負担軽減政策があるものの、新型コロナウイルス感染症の長期化や、円安・資源価格の高騰による住宅価格の上昇が影響し、依然として住宅着工件数は低水準で推移しております。

このような状況の中、当社は、主力製品「CERAMシリーズ」「SHINTOかわらS」の拡販や新規顧客の掘り起こし他、YouTubeやLINE等のSNSを活用した商品PRやWeb会議型アプリを使用したリモートによる営業活動にも努めてまいりましたが、売上高3,800百万円(前年同期比291百万円減少)となりました。

利益面におきましては、原油価格高騰による製造コスト上昇や、円安による商品の仕入コスト増加等に対して、販売価格への転嫁を行ってまいりました。また、工程管理の強化や効率生産を行った結果、売上総利益605百万円(前年同期比16百万円減少)、営業利益12百万円(前年同期は6百万円の営業損失)、経常利益37百万円(前年同期比30百万円増加)、四半期純利益24百万円(前年同期比21百万円増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末と比較して309百万円減少し、2,815百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が113百万円、商品及び製品が89百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比較して41百万円減少し、3,752百万円となりました。これは主に、有形固定資産が51百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末と比較して351百万円減少し、6,568百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末と比較して291百万円減少し、2,734百万円となりました。これは主に、短期借入金が240百万円、電子記録債務が54百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比較して69百万円減少し、523百万円となりました。これは主に、長期借入金が69百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末と比較して360百万円減少し、3,258百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、四半期純利益が24百万円となり、剰余金の配当が26百万円あったこと、その他有価証券評価差額金が10百万円増加したこと等により、8百万円増加の3,309百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の業績予想につきましては、2022年8月5日に開示しております、決算短信の今後の見通しに記載した状況から変化なく、ロシアによるウクライナ侵攻によるエネルギー資源価格の上昇、金融市場の変動など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。こうした先行きが不透明な経済環境の中、当業界における新設住宅着工戸数への影響が今後も懸念される状況にあり、業績予想を現段階において合理的に算定することが困難であることから引き続き未定としております。今後、合理的に算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	227,525	212,963
受取手形、売掛金及び契約資産	926,967	813,500
電子記録債権	182,609	181,439
商品及び製品	1,611,605	1,522,103
仕掛品	19,814	14,563
原材料及び貯蔵品	60,834	59,181
その他	97,432	13,703
貸倒引当金	△2,000	△2,000
流動資産合計	3,124,788	2,815,454
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	770,459	722,003
機械装置及び運搬具（純額）	81,625	77,952
土地	2,717,187	2,717,187
その他（純額）	106,964	107,410
有形固定資産合計	3,676,236	3,624,553
無形固定資産	3,307	2,702
投資その他の資産		
投資有価証券	75,674	89,345
その他	39,757	36,262
貸倒引当金	△136	—
投資その他の資産合計	115,295	125,607
固定資産合計	3,794,838	3,752,863
資産合計	6,919,627	6,568,318

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	354,937	358,341
電子記録債務	352,803	298,141
短期借入金	1,979,996	1,739,996
未払法人税等	3,608	13,503
賞与引当金	6,255	24,228
その他	328,456	300,759
流動負債合計	3,026,057	2,734,970
固定負債		
長期借入金	266,674	196,677
退職給付引当金	170,818	175,141
損害賠償引当金	19,733	19,733
資産除去債務	35,635	36,222
繰延税金負債	4,365	6,781
その他	95,656	89,191
固定負債合計	592,882	523,748
負債合計	3,618,939	3,258,718
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,903	412,903
資本剰余金	348,187	348,187
利益剰余金	2,637,336	2,635,692
自己株式	△125,108	△125,253
株主資本合計	3,273,319	3,271,530
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27,368	38,069
評価・換算差額等合計	27,368	38,069
純資産合計	3,300,687	3,309,600
負債純資産合計	6,919,627	6,568,318

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
売上高	4,092,297	3,800,777
売上原価	3,470,255	3,195,422
売上総利益	622,042	605,354
販売費及び一般管理費	628,522	593,044
営業利益又は営業損失(△)	△6,480	12,310
営業外収益		
受取利息	4	0
受取配当金	1,511	1,687
受取運送料	17,323	16,697
支援金収入	—	5,591
その他	9,738	10,979
営業外収益合計	28,577	34,956
営業外費用		
支払利息	8,171	8,738
固定資産除却損	6,685	—
その他	136	1,034
営業外費用合計	14,993	9,773
経常利益	7,103	37,494
税引前四半期純利益	7,103	37,494
法人税等	3,400	12,600
四半期純利益	3,703	24,894

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。